

デジタルものづくりを革新し続ける



2024年12月期 第3四半期決算説明資料

SOLIZE株式会社

証券コード：5871 東証スタンダード

2024.11.08

デジタルものづくりを革新し続ける

# SOLIZE





## ***Our Vision***

進化を感動に

## ***Our Mission***

知恵と技術をエンジニアリングし、価値創造を革新する  
「本質的に美しいものづくり」を実現する

**SOL** + **IZE**

人の情熱やエネルギー  
(ラテン語の太陽)

実現する

1. 2024年12月期 第3四半期決算ハイライト
2. 2024年12月期 連結業績予想
3. 中長期の成長目標
4. 株主還元

01

# Consolidated Financial Highlights

2024年12月期 第3四半期決算ハイライト

## 決算ハイライト

2024年12月期 第3四半期決算	<p>&lt;売上高&gt;          大手自動車メーカーの設計開発、試作の需要は旺盛な状態が継続しており、第3四半期単独期間においても好調で56億円となり、引き続き50億円超を5四半期連続達成          当第3四半期連結累計期間の売上高は16,411百万円となり、四半期単独及び累計額として過去最高額を記録</p> <p>&lt;営業利益&gt;          社員の給与水準の引き上げを実施したが、単価の値上げを実施及び人員稼働率を向上させる施策も行っており、結果として売上総利益率は上昇している。新規事業についても前期から稼働率が上昇          販売費及び一般管理費は、人員数及び採用活動費の増加による影響、並びに新規事業の先行投資的な支出の影響により増加傾向にあり、営業利益は219百万円となった</p>
デザイン事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車メーカーからの引き合いが継続して多く、設計開発の受託及びエンジニア派遣サービス、ソフトウェア開発の受注が拡大</li> <li>・売上高は13,497百万円、セグメント利益は113百万円</li> </ul>
マニュファクチュアリング事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連企業や機械メーカーへの試作サービスの提供が引き続き拡大</li> <li>・売上高は2,914百万円、セグメント利益は105百万円</li> </ul>
連結業績予想	<p>通期連結業績予想に変更なし</p>

## 四半期業績の傾向

第2四半期は毎年約100名の新入社員の入社および研修期間に伴い、稼働率の低下と経費の増加等の影響で売上高、利益ともに一時的に悪化するため、売上高・営業利益ともに下期偏重の傾向

2023年12月期での割合：売上高（上期47%、下期53%） 営業利益（上期20%、下期80%）

### 主要な四半期ごとの傾向

	売上高増減要因	営業利益増減要因
第1四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年第4四半期から継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経験者採用の積極化による費用増</li> </ul>
第2四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入社員研修の講師として、一部のエンジニアを非稼働化</li> <li>・ 多くのお客さまとの単価改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入社員の研修（3～4ヶ月）の期間の人件費、研修関連費用増</li> <li>・ 経験者採用の積極化による費用増</li> </ul>
第3四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入社員は第3四半期中に稼働</li> </ul>	-
第4四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンジニアの稼働率が最大化</li> <li>・ 主要顧客が下半期となり予算消化に伴う受注量の増加</li> </ul>	-

## 連結損益計算書

売上高は前年同期比1,919百万円増の16,411百万円となり、第3四半期累計額としては過去最高額を記録

（単位：百万円）

	2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	%
売上高	14,492	16,411	1,919	13.2
売上原価	10,648	11,875	1,226	11.5
売上総利益	3,843	4,536	692	18.0
売上総利益率	26.5%	27.6%	-	-
販売費及び一般管理費	3,417	4,316	899	26.3
営業利益	425	219	△206	△48.4
営業利益率	2.9%	1.3%	-	-
経常利益	433	201	△231	△53.5
四半期純利益	282	114	△168	△59.4

### おもな増減要因

#### ■売上高

大手自動車メーカーの設計開発の需要が旺盛な状態が継続しており、前年同期比1,919百万円の増収となった

#### ■売上総利益

社員給与水準の引き上げを実施したが、単価の値上げ、人員稼働率の向上や内製化案件の増加により、前年同期比692百万円の増益となった

#### ■販売費及び一般管理費

組織拡大による人件費及び採用費の増加、営業体制強化等に伴う影響により、前年同期比899百万円の増加となった



## セグメント情報

(単位：百万円)

	デザイン事業		マニュファクチュアリング事業	
	2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期
売上高	11,812	13,497	2,679	2,914
セグメント利益又は損失（△）	582	113	△156	105

## デザイン事業

- ・自動車メーカーからの引き合いが継続して多く、設計開発の受託及びエンジニア派遣サービス、ソフトウェア開発の受注が拡大
- ・SOLIZE India Technologies Private Limitedにおいて、3D CADのソフトウェア販売が引き続き好調
- ・経験者の積極採用、国内拠点の拡張を進めた結果、収益に先行して販売費及び一般管理費が増加

## マニュファクチュアリング事業

- ・自動車関連企業や機械メーカーへの試作サービスの提供が引き続き拡大
- ・3Dプリンター販売に伴う保守サービスや材料販売による収益も引き続き拡大
- ・体制見直しによる合理化を進めた結果、販売費及び一般管理費を抑制

## 連結貸借対照表

当第3四半期資産合計は14,211百万円となり、前期末比1,166百万円増加

（単位：百万円）

	2023年12月期	2024年12月期 第3四半期	増減額
流動資産	10,928	11,894	965
固定資産	2,117	2,305	188
資産合計	13,045	14,211	1,166

流動負債	3,161	2,783	△378
固定負債	214	208	△5
負債合計	3,376	2,991	△384
純資産合計	9,669	11,220	1,550
負債純資産合計	13,045	14,211	1,166

### おもな増減要因

- 流動資産  
 当年2月株式上場時の資金調達等により、現金及び預金が増加（589百万円）
- 流動負債  
 賞与支給に伴い賞与引当金が357百万円減少、各種税金納付により249百万円減少した一方、労働保険料申告手続き等により未払金が104百万円増加
- 純資産  
 株式上場時の自己株式の処分等による株主資本合計が増加（1,518百万円）

## 重視する経営指標

第3四半期は、新入社員の稼働により国内派遣稼働率が上昇

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期		
	通期	通期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
国内エンジニア数	1,101名	1,205名	1,283名	1,274名	1,389名	1,400名
国内派遣単価	4,339円	4,385円	4,556円	4,697円	4,835円	4,854円
国内派遣稼働率	87.5%	94.4%	94.9%	96.4%	90.4%	94.0%
国内採用数	174名	207名	236名	34名	167名	64名
国内退職率 ※	7.7%	8.6%	7.9%	-	-	-

2024年8月7日に開示した「2024年12月期 第2四半期決算説明資料」のP20「重視する経営指標」ページにおいて2024年12月期 第2四半期の国内派遣稼働率の数値に誤りがありましたので訂正いたします。

誤：92.6%

正：90.4%

※ 国内退職率は通期のみ

02

*Financial Position*

2024年12月期 連結業績予想

# 2024年12月期 連結業績予想

通期業績予想に変更なし

(単位：百万円)  
(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当 期純利益
通期	22,739	13.2%	350	△60.5%	327	△62.7%	182	△68.5%	36.00円

03



## *Medium- to Long-term Growth Targets*

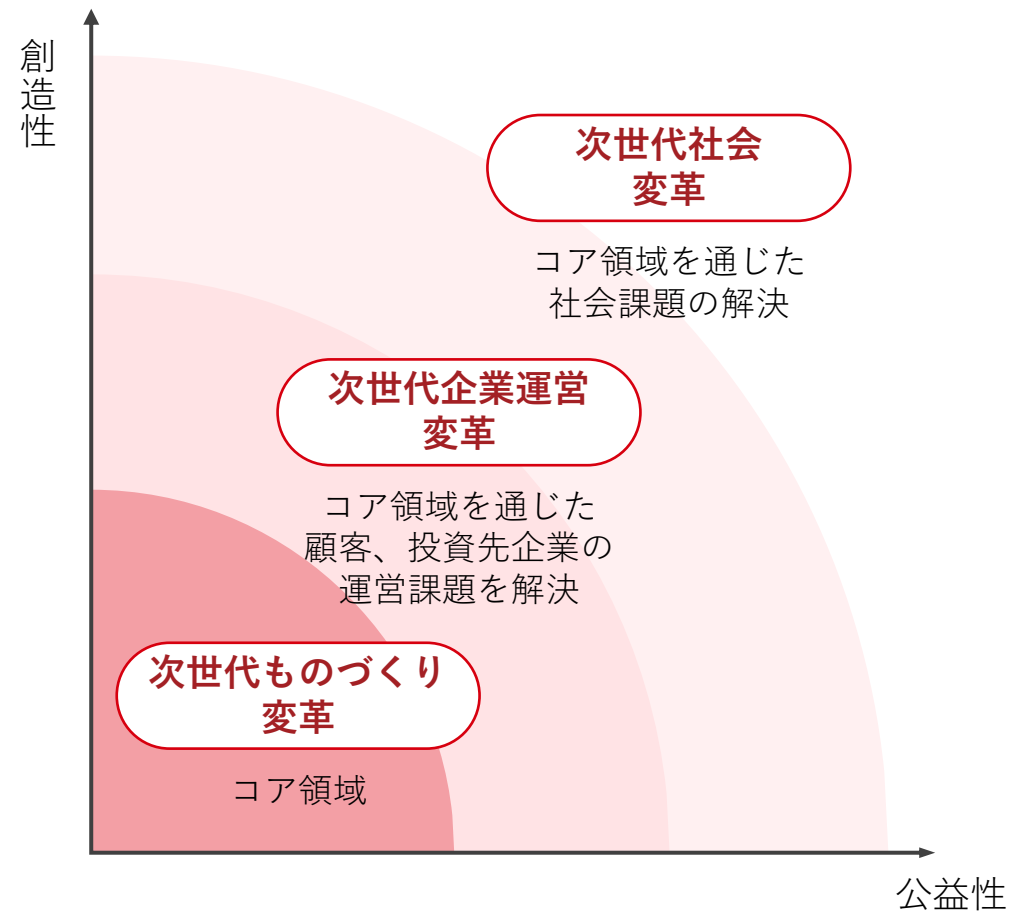
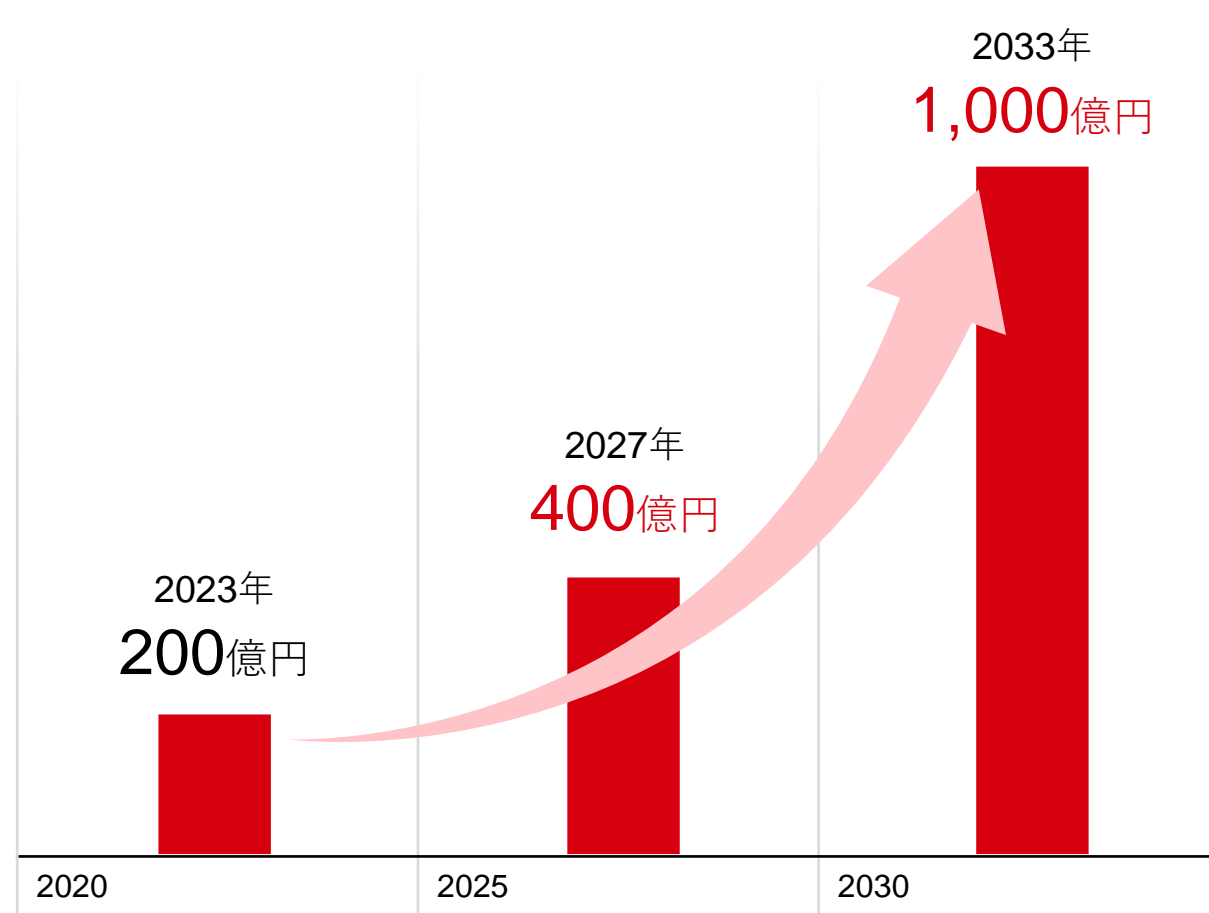
中長期の成長目標

## SOLIZEの目指す姿

SOLIZEは、人間の創造性と企業に求められる公益性を軸にデジタルテクノロジーを通じてさまざまな制約を超え、次世代の「ものづくり」「企業運営」そして「社会」を変革する担い手を目指す

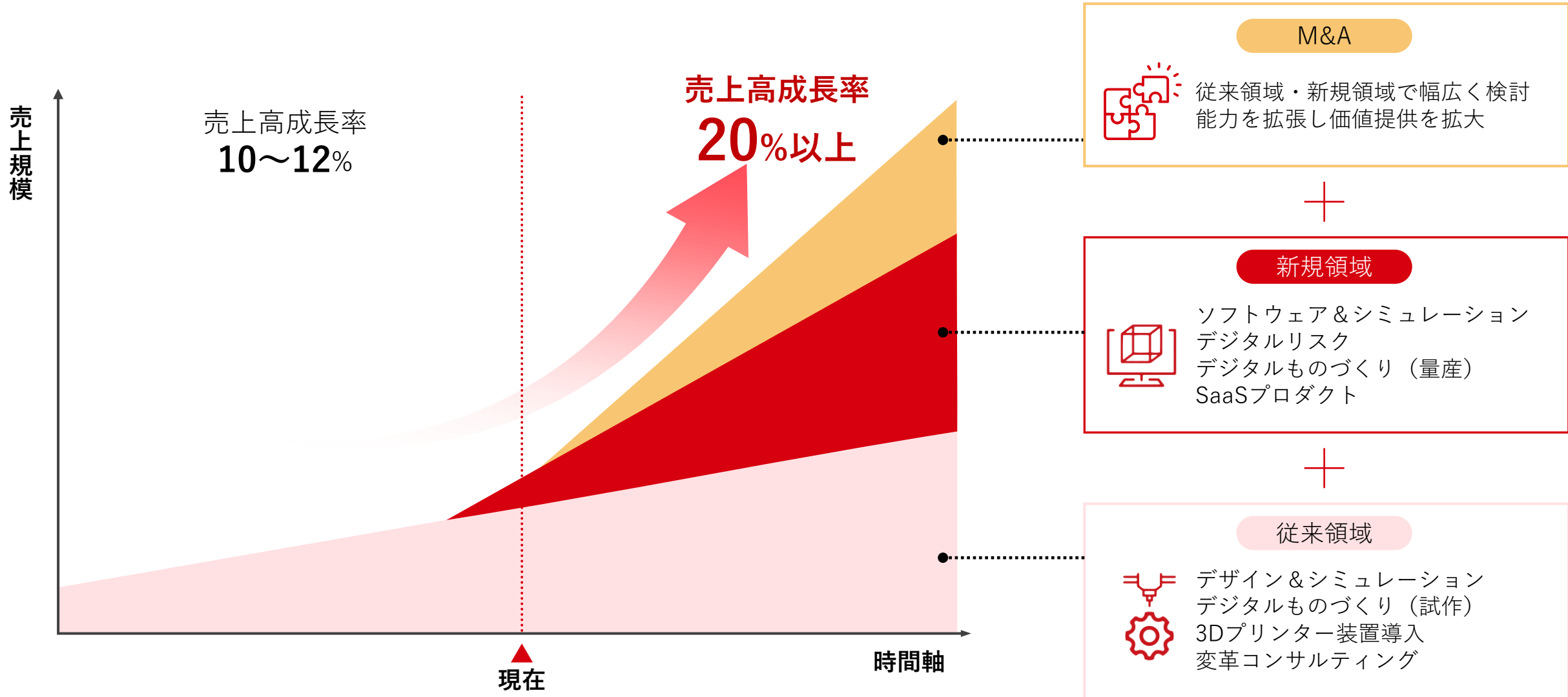
これまで、「デジタルものづくり」というコア領域で培った実践と変革を応用することで、提供価値の拡大を推進し、

**2033年に売上高1,000億円**を目標とする



# 成長目標

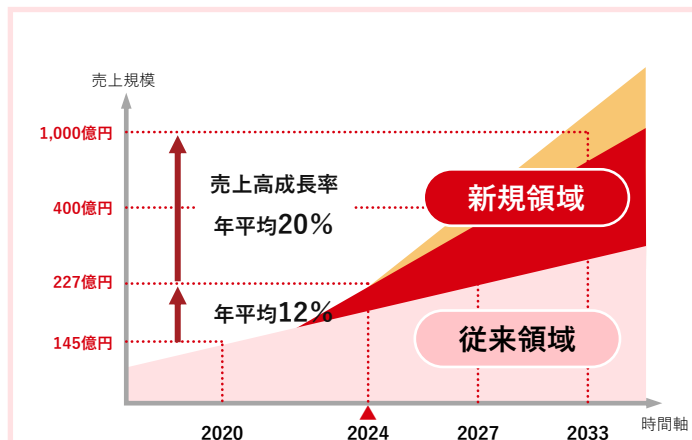
従来領域と新規領域の掛け合わせによる成長に加え、M&Aにより成長速度を加速





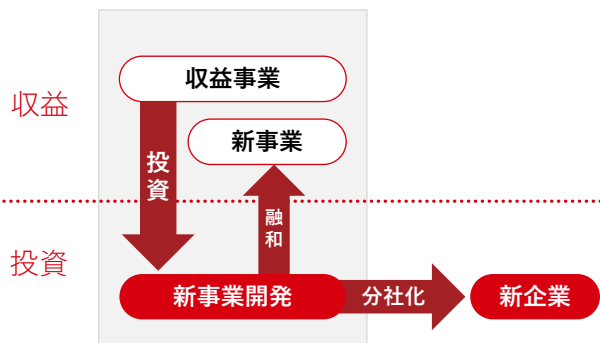
# 成長モデル

収益事業の利益をもとに新事業および新会社を創り、価値を生み出す企業体を構築



## SOLIZEの成長モデル

収益の上がる事業の利益をもとにして新規事業開発を行い、新たな企業を作る

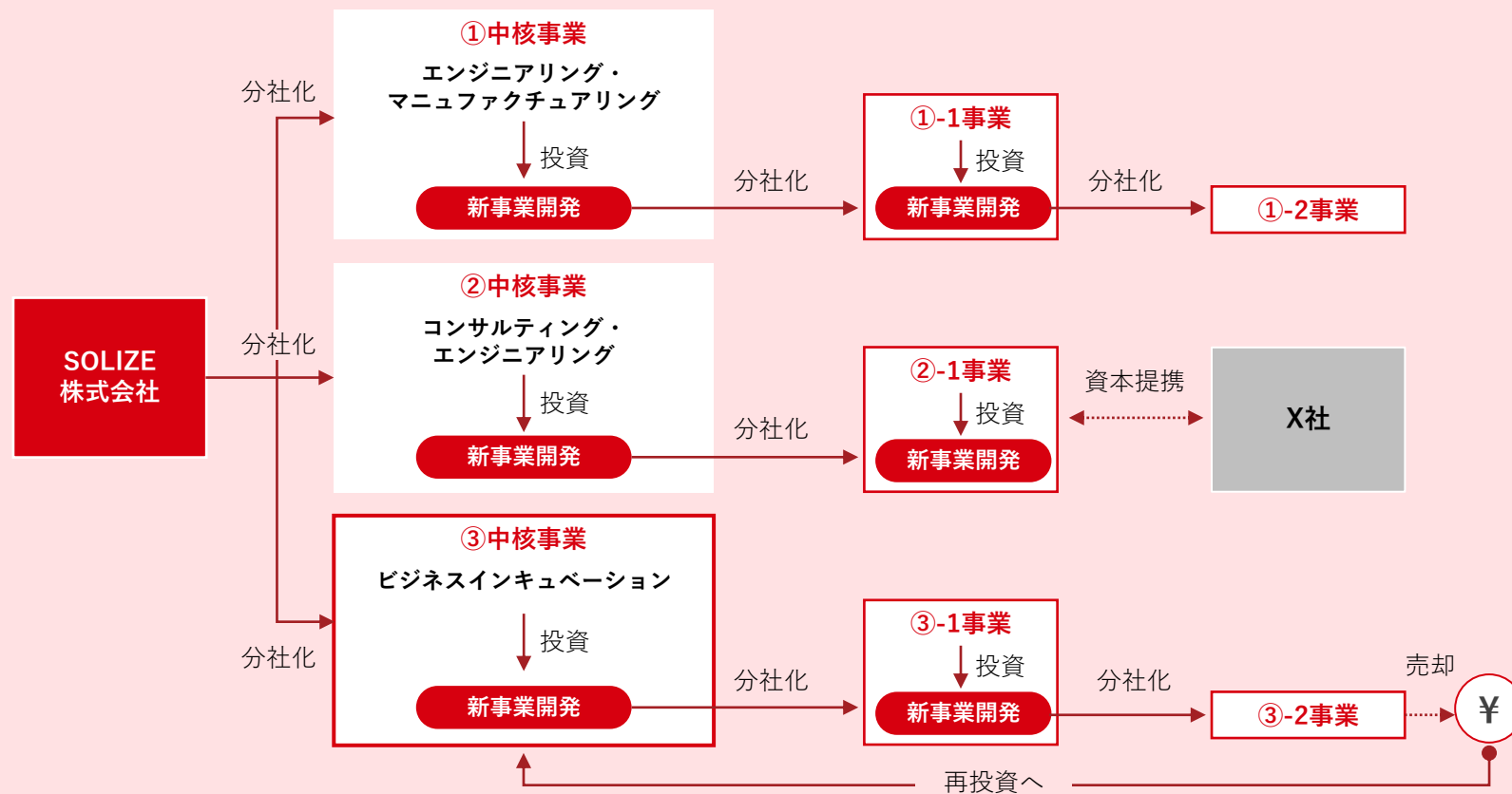


**グループ本社**

企業体の収益と投資の総和をマネジメント

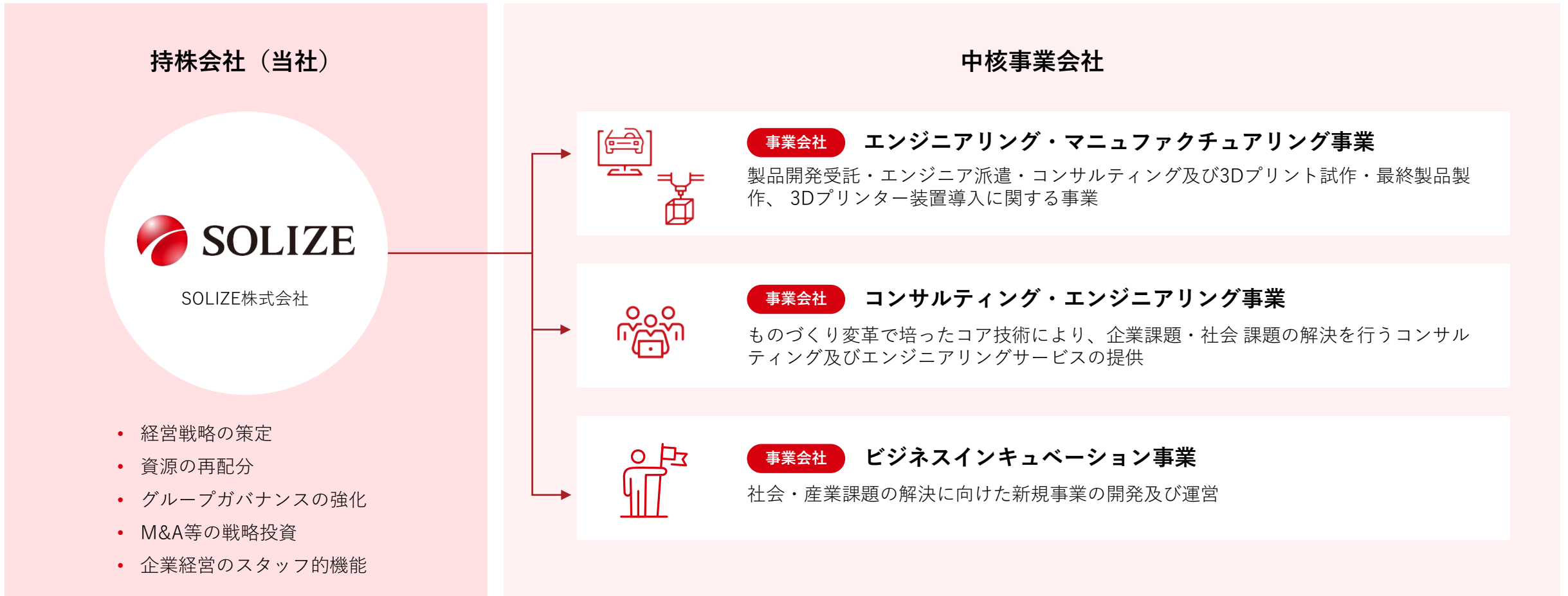
**中核事業会社**

収益の基盤を作り、その利益をもとにして投資し新たな事業と企業を創る



## 長期の成長目標実現に向けて「持株会社体制への移行」

中長期の成長目標達成に向け、中核事業会社は事業特性に沿った「**自主自律経営**」を実践し、事業拡大に注力  
持株会社は、経営戦略の策定、資源の再配分、M&A等の戦略投資等を中心とした「**グループ経営**」に特化



# 成長戦略

中期目標として事業戦略・投資戦略・人財戦略を組み合わせ、**2027年に売上高400億円**の達成を目指す

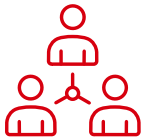
## 持株会社（グループ戦略）

### 投資戦略



- M&Aによるバリューチェーンの拡大
- ファンド出資等による先端ものづくり連携
- 保有知的資産を核とした社内事業開発の拡大

### 人財戦略



- 2027年の500名採用に向けた採用体制強化
- 海外人財の採用、育成
- 人的資本投資の推進

## 中核事業会社

### 事業戦略



#### エンジニアリング・マニュファクチャリング事業

- 既存事業のボリューム拡大、単価アップ
- グローバル開発支援の拡大
- 最先端のAM※関連技術の開発



#### コンサルティング・エンジニアリング事業

- 自動車業界以外への領域拡大
- SpectA事業（SaaSビジネス）の拡大
- MBD、サイバーセキュリティ等の高付加価値領域の拡大



#### ビジネスインキュベーション事業

- 新規領域での事業開発の推進
- CVC等による外部パートナーとの連携

※ Additive Manufacturing

05



*Return to stockholders*

株主還元

## 配当

### 基本方針

当社は株主の皆さまに対する利益還元を最重要課題の一つと位置づけており、将来の事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定的に配当を行う方針

### 配当の考え方

株主資本配当率（DOE：Dividend on equity ratio）を採用しており、前事業年度末の連結純資産の2.5%を目安

### 配当予想

2024年12月期の年間配当（47円）の変更なし

（単位：円）

	中間	期末	合計
2023年12月期	0	44	44
2024年12月期（予想）	0	47	47

## 免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

